

# 一般質問通告書

No. 1

上記の件について、下記のとおり質問したいので、会議規則第 62 条第 2 項の規定 により通告します。

平成 30 年 2 月 13 日

議席番号 3 番

東村山市議会議長 様

質問者 かみまち 弓子

## 記

| 番号  | 質問の項目と要旨  |
|-----|---|
| 1   | <b>小中学校でメールやアプリを使った連絡システム構築を！</b>   |
|     | <p>市内の小学校ではメールやアプリを使った配信サービスを使って学校や行事の情報を共有しているところもある。</p> <p>一方、現在私の子どもの通う第 7 中学校では電話での連絡網を使っている。市内中学校ではメールなどを使った連絡システムがされていないことが 2017 年 12 月議会の私の一般質問「中学校における防犯対策と不審者情報について」で教育部長の答弁により明らかになったことで以下伺う。</p>                      |
| (1) | <p>富士見小学校では無料メール配信システム「マチコミ」を使って学校からのお知らせや保護者会からのお知らせ、不審者情報を含め移動教室などでも具体的な状況がわかり保護者からも好評を博している。こうした情報の共有は各学校ごとに取り組み状況が異なるように聞いている。そこでどんなメールやアプリを使って情報共有をしているのか各小学校ごとの状況を伺う。何を使っているのか。どのような情報を流しているのか。流している年間の件数をそれぞれ各学校ごとに伺う。</p> |
| (2) | <p>市内小学校のなかで使われている方式のなかで最も評価が高いものはどれか。もっとも評価の高いものを各小学校で統一モデルとして導入してはどうか。見解を伺う。</p>  |
| (3) | <p>先の平成 29 年 12 月議会の教育部長の答弁により中学校では小学校で導入されているようなメール連絡網システムがないことがわかった。<u>保護者の方からもぜひ取り入れて実施してほしいという要望が多い。ぜひ中学校でもすべきと考えるが見解を伺う。</u></p>   |

| 番号 | 質問の項目と要旨   |
|----|--|
| 2  | <p data-bbox="300 622 1161 667"><b>性暴力被害者を救うワンストップ支援センターを！</b></p> <p data-bbox="300 701 1356 927">平成 28 年 3 月議会において「性犯罪等被害者を支援するワンストップセンターの設置等を求める意見書」が採択された。性暴力や DV 被害の相談を受け、迅速に警察や病院につなぐことで、被害者の負担軽減や早期救済に効果があるとされるワンストップ支援センターは都道府県や地方自治体においても設置されているところもある。しかしながら当市では現在までに設置に至っていない。以下伺う。</p> <p data-bbox="331 981 1356 1301">(1) 平成 27 年 9 月議会の私の一般質問の答弁で市長から「今後も関係各機関の強化を図って、早期に、重大事件にいく前に御相談を受け、一定の解決につながるように取り組んでまいりたいと思いますし、議員からも御指摘がありましたように、暴力を容認しない地域社会づくりを目指して、東村山市としても虐待あるいは DV を許さない、そういうまちづくりを推進してまいりたいと考えております。」と答弁があったが、その後どのように取り組みが進んだのか伺う。</p> <p data-bbox="331 1317 1356 1787">(2) 27 年 9 月議会の私の一般質問の答弁で市長から「DV の夫婦あるいは夫婦になる以前の段階、いろいろ関係性の問題はありますが、被害に遭われている方が、どこに相談していいのか、あるいは相談するに至るまでの気持ちの切りかえがなかなかできないとか、被害を受けながら相談していいのかどうかというところが決めかねているというケースが多いやに伺っておりますので、できるだけ被害に遭われている方にいち早く相談していただける体制を整えて、必要に応じて支援を受けられる状況をつくっていくことが大切だろうと考えております」と答弁があったが、具体的にどのように取り組みが進んだのか伺う。</p> <p data-bbox="331 1803 1356 1886">(3) 市の無料相談などで DV や性犯罪暴力被害の相談に実際にどれくらいの方が相談に来ているのか伺う。</p> |

| 番号  | 質問の項目と要旨   |
|-----|--|
| (4) | 相談者が各相談機関をまわるのではなく、切れ目のない支援のように、一回の相談で関係所管が連携できるようなマニュアルシステムを作るべきと考える。見解を伺う。   |
| (5) | 民間や市民団体の相談機関もある。そうした団体と市との連携は必要だと考える。現状はどのようにしているのか伺う。   |
| (6) | 市内のDV被害者支援団体のメンバーとして議員になる10年ほど前から私自身活動して相談を受けてきている。だからこそ性暴力被害の特殊性、深刻性に鑑み、性暴力被害者が被害を受け中長期的にも支援を継続することができるようにワンストップ支援センターに相談すれば事足りるように設置すべきと考える。見解を伺う。 |
| (7) | 29年6月議会でトイレなどに置いてある暴力を受けたときに相談できる一覧を表記した相談カードに関する私の質問に対し「QRコードにつきましてはカードの中にQRコードを入れるなど、そういった対策を今後検討させていただきたいと考えております」と答弁があった。その後の進捗状況を伺う。            |